

# 日本の医療保険制度は不平等

## (充実しているというのは洗脳)

多額の医療保険税を払い込む者と、毎日通院する者が同一ということは殆どありません。毎日通院している者の多くは生活保護受給者か暇な高齢者。高額な医療保険税を払っている者ほど多忙で病院へ行く暇がない。日本は医療保険制度が充実していると感じているのは暇つぶしに通院する者だけであり、払い込むだけで病院へ行かない者にとっては理不尽極まりない制度。『刷り込み』に騙されやすい皆様は目を醒ましましょう。

## ネグレクト、多頭飼育崩壊者は生活保護受給者が多い

- 計画性がない。産ませて増えたらエサ代にも困るということを思いつかない。
- 自立できない（福祉の世話になっている）。
- ゴミ屋敷に住んでいる。
- やもめ暮らしで、寂しさを紛らわすために動物を飼っている。動物への責任意識がない。
- 異性と会話するきっかけが欲しくて動物を飼っている。
- 異性の身体に触るきっかけが欲しくて、多頭飼育崩壊状態を作る。  
多頭飼育崩壊になるボランティアがすっ飛んで行って去勢避妊を促したり、エサを持って行く。やもめ男は会話するきっかけが出来てシメシメと考える。ボランティアが手術費やエサ代を肩代わりしてあげると、自分への恋愛感情だと思い込んで迷惑をかける。お金をかけずに異性と関わるきっかけづくりを考えている生活保護受給者がいる。

## 生活保護費（福島市の一人暮らしの場合、都会はもっと高額）

家賃上限 36,000円  
 生活費 69,160円  
 暖房費（11月～4月）7,460円  
 期末一時扶助 12,880円  
 医療費~~~~暇つぶしにどれだけ通院しようとも入院しようとも無料。  
 医療保険料も無料。

## 生活保護受給者との会話

- 「遣うと無くなるから、もっと必要だ」
- 星野 「遣ったら無くなるのは当然でしょ！働いてる人だって給料を遣ったら無くなるんだし」
- 「死ねってということですか？！」
- 星野 「あなたのような人間は死んだほうが、世の為人の為になりますよ！」

## **議員が自ら身を削って、生活保護制度を温存しようとしているならまだしも、労働者から税金をひっかき集めての生活保護制度。**

優しいことを言う人が優しいのではありません。優しいことを考える人が優しいのでもありません。優しいことをするためのお金を負担する人が優しいのです。

「困っている人を助けるべき、金持ちから沢山、税金を取って助けるべき」という連中は私から軽蔑されています。それは、『偽善と妬みをコラボさせた思想』にしか見えないからです。優しいことを言う人は、自分の身を削りましょう。

高額納税者がいなかったら、今頃、公務員報酬はもっと低かったでしょうし、生活保護費ももっと低かったでしょう。

お金持ちへの妬み僻み根性を発散させるための「累進課税」に感じますが、妬み僻みを隠すために、「富の再分配」という文言を使っているのかも知れません。

何の義理があって、努力して富裕層になった方々が、怠け者・人格破綻者の生活の面倒をみなくてはならないのか？ 理解に苦しみますが、「妬まれる人」よりも「妬む人」の人数のほうが圧倒的に多いため、妬み政策がまかり通ってしまったのでしょう。

福島市議の中にも偽装福祉議員がいます。  
**その議員の個人名を知りたい方は、  
ハガキでお問い合わせください。**  
お電話はお控えください。

動物の繁殖は虐待（繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ 産ませる人は殺す人）

福島市矢剣町 1 1 - 3 星野節子

0 2 4 - 5 6 3 - 7 6 5 0